萩市むつみ畜産女性部の研修会「口蹄疫について」

萩農林事務所畜産部 平成22年6月2日

萩農林事務所畜産部は、宮崎県で猛威を振るっている口蹄疫の侵入防止対策として、 消毒薬の配布による消毒指示、部外者の立入制限、異常畜の早期通報等を市町・JA等 の関係機関と共に管内畜産農家に指導しているところです。

このような状況の中、むつみ畜産女性部が、「口蹄疫について」の研修会を計画され5月31日JAあぶらんど萩高俣支所で開催しました。出席者は、会員、関係者15名さらに、地元の県会議員の出席も得られ、本病に対する 関心の高さが伺われました。

研修会では、当所職員が、口蹄疫の発生状況、防疫対策についてと同時に本病のウイルスが侵入した際に畜産農家、市町、県等行政の家畜伝染病予防法に基づく責務等について講演しました。

その中で、特に畜産農家の責務について、その責務の重さに対し畜産農家の再認識が 図られ、さらなる防疫意識の向上ができました。

当所は、引き続き本病の発生防止について万全の対策で取り組んでいきます。



研修会の風景